

平成30年度 事業報告書
平成30年4月1日～平成31年3月31日

公益財団法人 鷹揚郷

腎不全及びその他の腎疾患に関する研究並びに腎疾患のための病院事業(公益事業1)

1. 腎不全及びその他の腎疾患に関する研究について

(1) 研究内容

代謝生化学部門、癌免疫細胞生物学研究部門、移植免疫組織化学研究部門、臨床医学研究部門、病態画像研究部門により、なお、診断、治療の確立していない糖尿病性腎症、悪性硬化症、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群等の病態の研究を行った。

研究における基礎データとして病院における患者情報のうち個人情報を匿名化した生化学検査、レントゲン検査、心電図検査等の結果を用いた。

研究成果は、学会発表、論文発表、セミナーでの講演等により公表するとともに、当法人ホームページに発表した演題名を公表した。

(2) 平成30年度の研究発表、学会発表等は以下のとおりである。

〈 学会発表・講演 〉

平成30年4月19日～22日

第106回 日本泌尿器科学会総会

1. Clinical implication of a simple quantitative frailty assessment tool for prognosis in patients with urological cancers.

相馬 理, 畠山真吾, 大山 力 他

2. O-glycan 修飾変化を利用した膀胱癌細胞の新規 CTL 腫瘍免疫逃避機構

米山美穂子, 畠山真吾, 坪井 滋 他

3. 血液透析患者の低栄養と腹部大動脈石灰化進行の関連性の検討

岡本哲平, 高島 徹, 齋藤文匡 他

平成30年5月11日～12日

第24回 NMCC 共同利用研究成果発表会

4. 血液透析患者の血中微量元素濃度と生命予後について

山谷金光, 蔦谷知佳子, 畠山真吾 他

平成30年6月3日

第42回 青森人工透析研究会

5. スタッフ間の VA 情報共有を目指して

石川賢人, 小野 猛, 鈴木唯司 他

6. Transposed ulno-cephalic AVF を施行した血液透析患者の 1 例

齋藤久夫, 岡本亜希子, 三國恒靖 他

7. 廃用症候群による嚥下障害をもつ患者への作業療法

柴田 薫, 岩渕久美子, 木村克明 他

8. 看護職員のメンタルヘルスケアにおけるアロマセラピーの有用性

外崎亜貴子, 赤石佐知子, 鈴木唯司 他

9. マサカルシトール/ベタメタゾン配合軟膏による高カルシウム血症の 1 例

今西賢悟, 田中芳美, 齋藤文匡 他

10. 下腿切断部管理により通院継続できた義足使用者への援助

葛西真奈美, 小林美智子, 齋藤文匡 他

平成30年6月29日～7月1日

第63回 日本透析医学会学術集会・総会

11. バスキュラーアクセス (VA) 造設前後の手指 SPP、DBI (手指-上腕血圧比) について

齋藤昌明, 小山直人, 鈴木唯司 他

12. レグパラからパーサビブへ変更してのデータ変動についての考察

西村真利, 齋藤昌子, 赤石佐知子 他

13. 外来血液透析患者における運動機能・能力の経年変化について

川崎 忍, 岩渕久美子, 鈴木唯司 他

14. I-HDF 患者の geriatric nutritional risk index(GNRI)と各種パラメーターとの関連について

勢州谷忠昭, 三浦知, 齋藤久夫 他

15. シナカルセトからエテルカルセチドへの切り替え症例の検討

岡本亜希子, 北原竜次, 大山 力 他

16. 血液透析患者 (HDP) の生命予後に血中亜鉛およびセレン濃度が強く影響する

山谷金光, 蔦谷知佳子, 畠山真吾 他

17. Transposed ulno-cephalic AVF を施行した 4 例の経験

齋藤久夫, 相馬 理, 三國恒靖 他

18. 血液透析患者の血清コリンエステラーゼは Fetuin-A の独立因子である。
岡本哲平, 今西賢悟, 高島 徹 他
19. ビスフォスフォネート製剤 (BP) を服用する血液透析 (HD) 患者の抜歯 5 例について
五十嵐恵一, 田中 洋, 齋藤文匡 他
20. 肝性脳症を繰り返し発症する血液透析患者への援助
伝法愛未, 小林美智子, 齋藤文匡 他
21. シングルニードル法での HD とオンライン HDF 及び IHDF における透析効率の比較
工藤義人, 大村 誠, 鈴木唯司 他
22. 当院の Primary AVF 作成における一次開存の検討
齋藤文匡, 五十嵐恵一, 土橋伸行 他

平成30年9月1日～2日

第45回 東北腎不全研究会

23. 透析患者の亜鉛欠乏性貧血に対する酢酸亜鉛水和製剤 (ノベルジン®) の効果
北原竜次, 小西 栄, 村澤洋美 他
24. 透析患者様に対する誤嚥性肺炎予防のための適切な口腔ケアの方法。
佐々木優子, 嶋田君子, 鈴木唯司 他
25. 東レRO装置TW-1800RDH4年間の使用経験
小濱順三, 福士清澄, 齋藤久夫 他
26. 抜針危険度アセスメントスコアシート作成の試み
室谷しのぶ, 加藤千順, 齋藤文匡 他
27. 血液透析から生体腎移植へ治療の選択を変更した保存期腎不全患者の看護を経験して
工藤美佳子, 小林美智子, 齋藤文匡 他
28. 膀胱内に占拠した巨大前立腺間質性腫瘍により慢性腎不全に移行した症例
齋藤文匡, 高島 徹, 土橋伸行 他

平成30年10月27日

第258回 日本泌尿器科学会東北地方会

29. 前立腺癌放射線治療後に発症した筋層浸潤性膀胱癌に対してロボット支援下膀胱全摘術を
施行した一例
久保田優花, 畠山真吾, 大山 力 他

平成30年11月8日～9日

第40回 日本小児腎不全学会学術集会

30. 当院における 20 歳未満の腎移植症例の検討

久保田優花, 齋藤久夫, 大山 力 他

平成30年11月27日～29日

第32回 日本泌尿器科内視鏡学会総会

31. 黄色肉芽腫前立腺炎が原因で発生した尿閉に対して HoLEP を施行し改善した 1 症例

齋藤文匡, 高島 徹, 鈴木唯司 他

平成31年3月7日

第15回 臨床糖鎖研究会

32. 膀胱癌における Transmembrane Protein 2 の免疫組織化学的検討

米山美穂子, 坪井滋, 大山 力 他

平成31年3月8日～10日

第9回 日本腎臓リハビリテーション学会学術集会

33. 血液透析患者におけるサルコペニアと Timed Up & Go Test に関する男女別の検討

川崎 忍, 岩渕久美子, 木村克明 他

平成31年3月15日～19日

第34回 欧州泌尿器科学会議

34. MECA79 positive high endothelial venule(HEV)density correlates with clinical outcomes in Upper Tract Urothelial Carcinoma patients treated with Radical Nephroureterectomy

久保田優花, 畠山真吾, 大山 力 他

〈 原著・著書 〉

平成30年

1. NMCC 共同利用研究成果報文集 24, 213-218, 2018

血中亜鉛およびセレン濃度の低下は血液透析患者の生命予後に強く影響する

山谷金光, 蔦谷知佳子, 齋藤久夫 他

平成30年3月

2. BMC Nephrology(2018)19:71

<https://doi.org/10.1186/s12882-018-0872-y> March 2018

The relationship between poor nutritional status and progression of aortic calcification in patients on maintenance hemodialysis.

岡本哲平, 田中芳美, 大山 力 他

3. Clinical and Experimental Nephrology

<https://doi.org/10.1007/s10157-018-1569-z> March 2018

Butyrylcholinesterase level as an independent factor of erythropoiesis-stimulating agent resistance in patients on maintenance hemodialysis: a single-center cross-sectional study.

岡本哲平, 田中芳美, 今西賢悟 他

平成30年6月

4. PLOS ONE. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0199160> July 2018

Proton pump inhibitor as an independent factor of progression of abdominal aortic calcification in patients on maintenance hemodialysis.

岡本哲平, 田中芳美, 高島 徹 他

平成30年7月

5. Kidney International July 2018 94, 224

<https://doi.org/10.1016/j.kint.2017.11.033>

Electrocardiographic artifact due to an arteriovenous fistula.

大沢 弘, 北原竜次, 齋藤久夫 他

平成30年8月

6. International Urology and Nephrology.

<https://doi.org/10.1007/s11255-018-1957-z> August 2018

Low serum butyrylcholinesterase is independently related to low fetuin-A in patients on hemodialysis: a cross-sectional study.

岡本哲平, 田中芳美, 今西賢悟 他

7. ONCOLOGY LETTERS 14 : 4829-4834

The role of LIM and SH3 protein-1 in bladder cancer metastasis.

佐藤美沙季, 米山美穂子, 鈴木唯司 他

〈 学会、研究会等の主催・共催 〉

(主催)

○平成30年度鷹揚郷腎研究所医学セミナー

主催 公益財団法人鷹揚郷腎研究所

会場 公益財団法人鷹揚郷腎研究所弘前病院講堂

メインテーマ 『慢性腎不全を考える』

第1回 平成30年6月13日(水)17:30~18:30

摂食嚥下障害

弘前脳卒中リハビリテーションセンター言語療法聴覚室主任 三浦 順子

第2回 平成30年9月29日(土)15:00～16:00
バスキュラーアクセスの管理から治療まで

大川 VA 透析クリニック院長 大川 博永

第3回 平成30年11月1日(木)17:30～18:30
帯状疱疹と足爪白癬の診療

弘前大学大学院医学研究科皮膚科学講座教授 澤村 大輔

第4回 平成31年1月25日(金)17:30～18:30
腎臓の漢方

公益財団法人鷹揚郷腎研究所弘前病院診療部長 永田 紀四郎

○第2回腎懇話会

日時：平成31年3月15日（金）18:00～20:00

場所：鷹揚郷腎研究所弘前病院 講堂

(共催)

○第12回東北糖鎖研究会

日時：平成30年9月21日～22日

場所：弘前大学医学部コミュニケーションセンター

2. 腎疾患治療のための病院の運営

- ア 要請を受けた医療機関への透析治療の指導をした。
- イ 透析治療ベッド、透析機器等の整備を適宜行った。また、合併症等で重症化した透析患者や高齢者により手厚い治療や看護が必要な透析患者を積極的に受け入れた。
- ウ 移植医療について、腎移植における組織適合性や拒絶反応抑制の研究の推進、移植スタッフの充実を図り、県や弘前大学医学部と連携して移植を行った。
- エ 医学部の学生、看護学生等の研修実習を受け入れた。

(1) 腎研究所病院概要

○ 腎研究所弘前病院

診療科目：泌尿器科、内科、外科、リハビリテーション科、歯科(主に弘前病院の腎疾患患者)

入院ベッド数 109床、人工腎臓台数 151台

年間延患者数 入院 26,067名

外来 81,094名, 歯科 870名

1日平均患者数 入院 71.41名

外来 261.60名, 歯科 3.64名

腎移植の実施 生体腎移植 5件

献腎移植 1件

○ 腎研究所青森病院

診療科目：泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科(主に青森病院の腎疾患患者)

入院ベッド数 45床、人工腎臓台数 97台

年間延患者数	入院	13,104名		
	外来	53,633名,	歯科	628名
1日平均患者数	入院	35.90名		
	外来	174.05名,	歯科	3.85名

(2) 実習・研修・見学者

○ 弘前大学医学部附属病院

地域医療研修

平成30年8月1日～8月31日	研修医	1名
平成30年9月1日～9月30日	研修医	2名
平成31年1月1日～1月31日	研修医	1名
平成30年9月(3日)	歯科研修医	1名

○ 弘前大学医学部医学科

医学部研修医制度に係る講義

平成30年4月～平成31年3月(42日) 5学年 257名

クリニカルクラークシップ

平成30年7月2日～7月27日 6学年 2名

○ 看護学校

人工透析治療の実際の見学及び透析患者の看護に関する講義

平成30年7月3日	独立行政法人国立病院機構弘前病院附属看護学校	2学年	39名
平成30年10月5日	青森県立黒石高等学校専攻科	1学年	40名

○ リハビリ治療部臨床実習

弘前医療福祉大学保健学部医療技術学科 作業療法学専攻

平成30年4月9日～5月26日	4学年	1名
平成30年10月1日～10月27日	3学年	1名
平成30年11月12日～12月8日	3学年	1名

弘前大学医学部保健学科 理学療法学専攻

平成30年4月9日～6月2日	4学年	1名
平成30年10月1日～11月17日	3学年	1名

○ 東北女子短期大学 医療秘書実習

平成30年9月18日～19日 2学年 1名

○ S. K. K情報ビジネス専門学校 医療事務実習

平成30年10月15日～19日 1学年 1名

○ 透析療法従事職員研修

平成30年10月5日～11月30日（5日）医師 1名

3. 弘前大学大学院医学研究科に対する助成

腎不全及び肝不全の治療法に最先端の移植再生医学の研究分野を取り入れ、当該研究の成果を血液浄化療法と移植再生医療に用いるため、弘前大学大学院医学研究科に寄附講座「先進移植再生医学講座」を開設した。弘前大学大学院には、泌尿器科学講座、消化器外科学講座及び循環呼吸腎臓内科学講座があるが、これらの講座と当該寄附講座が相互に連携し、より専門的な研究を行った。

○研究内容

移植再生医学に関する基盤的臨床的研究及び血液浄化療法等の関連工学技術の開発と実地診療への応用

○設置期間

平成22年10月1日から令和2年9月30日まで

○寄附の方法

資金（5,000万円）を提供

青森県腎臓バンクの運営（公益事業2）

1. セミナーの開催

県内主要医療機関、医療系学部のある大学、専門学校及び患者会等において、臓器移植法の内容、移植医療の現状、献腎移植の普及啓蒙思想等に関するセミナーを開催した。

平成30年度青森県腎臓バンクセミナー

第1回 腎不全医療入門

日時：平成30年7月18日（水）14：30～15：50

会場：青森中央学院大学

主催：青森県腎臓バンク

共催：弘前大学大学院医学研究科 先進移植再生医学講座／泌尿器科学講座／青森県透析医会

後援：青森県

開会のことば

青森県腎臓バンク運営委員長

弘前大学大学院医学研究科泌尿器科学講座教授 大山 力

講演1) 腎不全とその治療

弘前大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター助教 村上 礼一

講演2) 腎移植の実際

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座講師 畠山 真吾

講演3) 臓器移植コーディネーターの役割

青森県臓器移植コーディネーター 鈴木 旬子

まとめ 青森県の腎移植と弘大病院の役割

青森県腎臓バンク運営委員長

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 教授 大山 力

第2回 腎不全医療入門

日時：平成30年10月3日（水）14：30～16：00

会場：八戸学院大学 総合実習館（8号館）

主催：青森県腎臓バンク

共催：弘前大学大学院医学研究科 先進移植再生医学講座／泌尿器科学講座／青森県透析医会

後援：青森県

講演1) 腎不全とその治療

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座助教 村上 礼一

講演2) 腎移植の実際

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座助教 村上 礼一

講演3) 臓器移植コーディネーターの役割

青森県臓器移植コーディネーター 鈴木 旬子

第3回 透析患者さん&ご家族との交流会

日時：平成30年10月28日（日）13：00～14：00

会場：下北文化会館 視聴覚教室（むつ市）

主催：青森県腎臓バンク／むつ地区腎友会

共催：弘前大学大学院医学研究科 先進移植再生医学講座／泌尿器科学講座／青森県透析医会

後援：青森県

開会のことば

青森県腎臓バンク運営委員長

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 教授 大山 力

講演 腎不全とその治療について

～腎移植もお勧めします～

青森県腎臓バンク運営委員長

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座 教授 大山 力

第4回 腎不全医療入門

日時：平成31年2月27日（水）14：30～15：50

会場：十和田准看護学院 第2教室（1F）

主催：青森県腎臓バンク

共催：弘前大学大学院医学研究科 先進移植再生医学講座／泌尿器科学講座／青森県透析医会

後援：青森県

開会のことば

青森県腎臓バンク 運営委員長

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座教授 大山 力

講演1) 腎不全とその治療

弘前大学大学院医学研究科 先進移植再生医学講座講師 村上 礼一

講演2) 腎移植の実際

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座講師 畠山 真吾

講演3) 臓器移植コーディネーターの役割

青森県臓器移植コーディネーター 鈴木 旬子

まとめ 青森県の腎移植と弘大病院の役割

青森県腎臓バンク 運営委員長

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座教授 大山 力

第5回 腎不全医療入門

日時：平成31年3月1日（金）17：30～18：50

会場：青森市立高等看護学院 3F教室

主催：青森県腎臓バンク

共催：弘前大学大学院医学研究科 先進移植再生医学講座／泌尿器科学講座／青森県透析医会

後援：青森県

開会のことば

青森県腎臓バンク 運営委員長

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座教授 大山 力

講演1) 腎不全とその治療

弘前大学大学院医学研究科 先進移植再生医学講座講師 村上 礼一

講演2) 腎移植の実際

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座講師 畠山 真吾

講演3) 臓器移植コーディネーターの役割

青森県臓器移植コーディネーター 鈴木 旬子

まとめ 青森県の腎移植と弘大病院の役割

青森県腎臓バンク 運営委員長

弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座教授 大山 力

2. パンフレット及び意思表示カードの配布

日本臓器移植ネットワークが作成している臓器移植に関するパンフレット及び臓器提供に係る意思表示カードを、県内の透析施設、患者団体、ライオンズクラブ等、要望のある団体又は個人へ配布した。

介護を要する慢性腎臓病患者のための居宅介護支援事業（公益事業3）

介護が必要な慢性腎臓病患者を対象として、介護保険の申請の代行、要介護認定に係る訪問調査、ケアプラン（介護サービス計画）の作成を行った。

慢性腎臓病患者が透析治療を受けていることの特異性（治療前後での体調の変化等）を理解した上でのケアが必要となるので、その点を配慮した居宅介護支援を行った。

また、上記の事業をする際に、本人又は家族からの介護に関する相談を受け付けた。

（1）平成30年度サービス利用件数

弘前介護支援事業所 ケアプラン作成 562件、認定調査 50件
青森介護支援事業所 平成30年2月より休止中

法人の運営について

1. 会議に関する事項

（1）理事会

○平成30年度定時理事会（平成30年5月28日）

- 議 題
- 1) 平成29年度事業報告について（承認）
 - 2) 平成29年度決算案について（承認）
 - 3) 平成30年度定時評議員会開催日について（承認）
 - 4) 代表理事の職務の執行状況についての報告

○平成30年度第1回臨時理事会（平成31年3月12日）

- 議 題
- 1) 平成31年度事業計画について（承認）
 - 2) 平成31年度予算案について（承認）
 - 3) 代表理事の職務の執行状況についての報告

（2）評議員会

○平成30年度定時評議員会（平成30年6月18日）

- 議 題
- 1) 議事録署名人選出について（承認）
 - 2) 平成29年度事業報告について（承認）
 - 3) 平成29年度決算案について（承認）